

# 周南市 認知症ケアパス

認知症のことが 気になり始めた あなた、ご家族へ

知ること、つながること、伝えることで

不安から安心へ

わかろうとして  
くれる姿勢に  
ホッと安心する

支えになるのは  
「人」だと思う

何かに関わって  
いたいし、  
役割を持ちたい

今までどおり  
趣味は  
楽しみたい

今までやって  
いたことなら  
なんとなくできる

楽しいことを  
言って  
過ごしたい

# はじめに

## 認知症ケアパスとは

認知症の予防から人生の最終段階まで、状態に応じたケアの流れや生活の工夫を示したもので、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいのか、これらの流れをあらかじめ標準的に示したものです。

知ること、つながること、  
伝えることで  
不安から安心へ

## 周南市 の 認知症ケアパス

周南市の認知症ケアパスは、  
認知症とともに生きるために、「知る」「つながる」「伝える」ためのツール です。

もしも認知症と診断されたとしても、よき理解者や支援者に出会えたり、自分の思いや希望を周囲に伝え、分かってもらうことで、自分らしく安心して暮らせる方法を見つけることもできます。

認知症のことが気になり始めた方、認知症かもしれないと不安に思っている方、認知症と診断された方、家族の方など、いろいろな状況の方が相談できる人や場所とつながり、不安をひとりで背負いこまないですむように、生活の工夫、相談場所、医療・介護、活動や交流 などの情報を整理しました。

2025年には65歳以上の高齢者の5人にひとりが認知症になると見込まれ、あなた自身や大切な家族、友人、近所の人、誰にとっても認知症は身近な病気となっています。

誰もがなりうる認知症。  
認知症とともに生きるために、「知る」「つながる」「伝える」ためのツール として、このケアパスをご活用ください。

▶ 認知症のこと、早期受診・早期対応が大切なことを… ▶ 予防や進行を緩やかにするために、今・これからできることを…	知 る	p.3~p.7
▶ 身近な相談窓口や味方になってくれる人や場所と…	つ なが る	p.8~p.11
▶ 自分の思い や 希望 を 家族や周囲の人に…	伝 える	p.5

# 早期受診・早期対応が大切なことを「知る」

## ▶ 認知症とは？

さまざまな原因により脳に変化が起こり、それまでできていたことができなくなり、生活に支障をきたした状態をいいます。

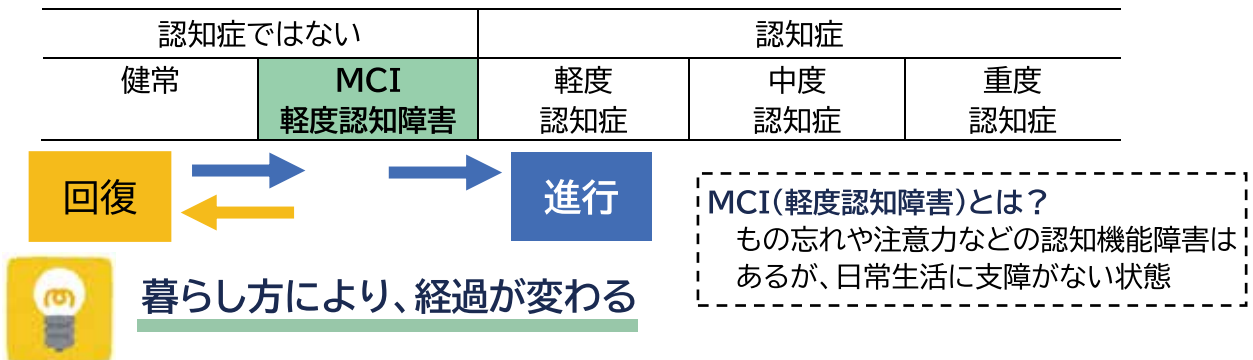
## ▶ 認知症の原因となる病気 代表的な認知症には、次の4つがあります。

アルツハイマー型認知症	認知症の中で最も多くを占めます。軽度のもの忘れから始まり、徐々に時間や場所の感覚がなくなることが特徴です。
血管性認知症	脳梗塞や脳出血等が起こるたびに段階的に進行します。障害を受けた部位によって、症状が異なります。
レビー小体型認知症	現実にはないものが見える幻視や、手足が震えたり筋肉が固くなるといった症状が現れます。
前頭側頭型認知症	同じ行動を繰り返す、我慢が苦手になるなどの行動の変化がみられたり、言葉の意味の理解が苦手になるなどが現れます。

## ▶ 認知症の経過や進行予防

認知症は、症状や進み方は人によって大きく異なり十人十色です。

認知症の前段階といわれるMCI(軽度認知障害)では、生活習慣の改善や人との交流、社会参加など暮らし方により、発症を遅らせることが期待されます。



## 「もの忘れ…まだ大丈夫かな？」が相談どき

認知症に早く気づくことで対応策の幅が広がり、認知症とともに暮らすための備えにつながります。

### 暮らしの備え

- ・ ご本人や家族が今後の見通しを持って、対応の心構えができる。
- ・ 認知症の仲間や暮らしを支えてくれる理解者など、味方に早く出会える。
- ・ 治療による進行予防ができる。また、受診により他の病気がみつかる可能性がある。
- ・ ご本人にとって楽しい・心地よい活動を送ることで、生きがいを感じながら暮らせ、進行を緩やかにできる

# 自分のことを「知る」

## 脳の健康チェック

脳の健康について、暮らしの中での目安として活用いただき、いくつか思い当たる・当てはまる項目が増えた時は、ぜひあなたの身近な相談先へお声がけください。



自分で  
チェック

家族や  
ケアマネジャー  
など支援者と  
一緒にチェック

定期的な  
チェックで  
変化に気づく

初めての  
受診・相談時、  
様子の説明に  
役立てる

早めの相談は、  
対応策の幅を広げ  
今後の暮らしの  
備えに

(記入日: 年 月 日, ご本人と一緒に記入した人: )

チェック項目	該当に ✓	チェック項目の具体的な様子・ 目立つようになった時期 等
同じことを何度も言う、聞く、する	<input type="checkbox"/>	
しまい忘れや置忘れが増え、 いつも探しものをしている	<input type="checkbox"/>	
料理・片付け・計算・運転などの ミスが多くなった	<input type="checkbox"/>	
テレビ番組の内容が理解できなく なった	<input type="checkbox"/>	
約束の日時や場所を間違える ようになった	<input type="checkbox"/>	
慣れた道でも迷うことがある	<input type="checkbox"/>	
外出時、持ち物を何度も確かめる	<input type="checkbox"/>	
趣味や好きなテレビ番組に興味を 示さなくなった	<input type="checkbox"/>	
実際にはないものが見える	<input type="checkbox"/>	
動作が緩慢になった	<input type="checkbox"/>	
頭がはっきりしている時と、そうで ない時の差が激しい	<input type="checkbox"/>	
転倒や失神をくり返す	<input type="checkbox"/>	

認知症の人と家族の会作成「認知症早期発見のめやす」を元に、あ・うんネット周南認知症ワーキング会議が再編

### ※支援者記入欄

受診や相談にあたり、ご本人・ご家族が心配・不安に感じておられることがあればご記入ください。

記載日: \_\_\_\_\_, 記載者: (所属・職種) \_\_\_\_\_ (氏名) \_\_\_\_\_

# 思いや希望を「伝える」

認知症とともにあなたらしく暮らすために、生きがいを持ちそれを続けることが大切です。記入により、周囲の人もあなたの「自分らしさ」を理解しやすくなります。

好きなことを  
続けよう

- ・ 大切な習慣、好きなこと・楽しみは、「生きがい」になる
- ・ 「生きがい」を続けることで進行が緩やかになる

自分にとって  
大切なことを  
伝えよう

- ・ 生きがいがあり、心地よく過ごす時間はあなたが「自分らしく」いられる時
- ・ 家族や友人、支援者などと一緒に記入し、周囲に「自分らしさ」を伝えよう
- ・ 周囲に伝えることで、今とこれからの暮らしの工夫やケアに役立つ

知る・伝える

(記入日: 年 月 日, ご本人と一緒に記入した人: )

大切な習慣や日課

就いている(就いた)仕事・得意なこと

大切な人・もの・思い出

好きな食べ物・飲み物

好きな場所・景色

好きな音楽・歌・本・映画

好きなスポーツ

好きな色

好きな服装・髪型

好きな ( )

これからもしたいこと・続けたいこと

やりたいのにあきらめてしまったこと・やめてしまったこと

苦手なこと・嫌いなこと・不安なこと


(人に)してほしくないこと



このページを写真に撮って伝えよう!

# 今・これからできることを「知る」 ……認知症の進行に応じた 症状・工夫・利用できる支援 の一覧

経過は一例です。  
状態や様子は個人差  
があります。

		症状のない時期 (予防の時期)	気づきの時期 (変化が起き始めた時期)	発症した時期 (日常生活で見守りが必要)	色々な症状が出てくる時期 (日常生活に手助け・介助が必要)	身体の動きが悪くなる時期 (常に介護が必要)					
		回復 ←	← 軽度認知障害(MCI)	→ 進行	軽度認知症	中度認知症	重度認知症				
症状	ご本人	様子 ・人との交流や趣味活動などを楽しみながらの生活 	気持ち ・なんとなく違和感や不安を感じる ・約束を忘れるような気がする ・周りから「しっかりして」と言われると辛い	生活の工夫 ● 家事などを続け、手先や頭を使いましょう。 ● 閉じこもりにならないように、趣味を持つなど、積極的に活動しましょう。	様子 ・物の置いた場所を忘れることが増え、いつも探し物をしたりしている ・約束や予定の場所を忘れてたり間違えることが頻繁にある ・買い物や金銭管理にミスが見られるが、身の周りのことは自分でできる	気持ち ・この先どうなるのか不安 ・できていたことができなくなり悲しい ・できることもあることを知ってほしい	生活の工夫 ● 不安を感じたら、かかりつけ医や家族に相談しましょう。 ● 趣味や仕事など、規則正しい活動的な生活を続けましょう。 ● 大事なことは書きとめたり、周囲に思いを伝えおきましょう。	様子 ・たびたび道に迷う ・物の使い方が分からない ・着替え、入浴、排せつなどがうまくできないことがある	生活の工夫 ● できるだけ今まで通りの生活や活動を続けましょう。 ● 趣味や仕事で培ってきた得意分野を活かすと、自信が回復し、心が安定します。 ● 決まった置き場所を決めましょう。引き出しにラベル(中身)を貼っておくなど。 ● 時間の見当がつく工夫をしましょう。(デジタル時計、ボードに予定を記入など) ● 道に迷わないよう、外出の際は目印を決めましょう。 ● 自然の風や光に適度にあたり、思い出の風景を散歩してみよう。昔の記憶がよみがえり、安心につながります。	様子 ・身の回りのことに全面的な介護が必要 ・症状が進むとほぼ寝たきりで、意思疎通が難しい	生活の工夫 ● 体調を崩しやすくなります。 ● 体調面、栄養面のサポートも整えましょう。
	ご家族	● 予防の活動を支援しましょう。 ● 本人の役割をつくりましょう。(家事、孫の世話、ペットの世話等) ● 本人へ声かけをしたり、会う機会を増やしましょう。 ● 「いつもと違う」と思った時には、不安が小さいうちに専門家へ相談しましょう。 ● 認知症に関する正しい知識や理解を深めましょう。 ● 折に触れて、「人生会議」※をしましょう。 ※「人生会議」:もしもの時のために、自分の望む医療や介護について前もって考え家族など周囲と話し合うこと	● ゆっくり、短い言葉で、一つずつ伝えましょう。「納得」より、その場の「納得」を。 ● できることは続けられるよう、サポートしましょう。趣味や仕事で培ってきた得意分野や好きなことを活かすと、昔の記憶がよみがえり、心が安定します。 ● 時間の見当がつく工夫、探し物を減らす工夫などをサポートしましょう。 ● 今後の見通しを立て、介護や金銭管理などについて考えておきましょう。 ● 介護サービスなどを活用し、介護者自身の健康管理をしましょう。 ● 近い親族や本人の親しい人には、病気のことを伝えておきましょう。	● 身体管理を十分に行いましょう。(水分や食事、排せつなどの状況の観察など) ● 落ち着きのない行動が身体状況から来ていることもあります。 ● 本人の視点にたって、延命処置や医療をどの程度行うか、家族で相談しておきましょう。							

利用できる支援	参加・活動 (P.10~11参照)	■ 認知症サポーター養成講座 ■ 出前トーク ■ 認知症講演会 ■ 認知症にやさしい図書館 ■ 認知症カフェ ■ 認知症家族会・認知症介護者の集い ■ 脳の健康度測定 ■ 脳の健康チェックリスト ■ 住民運営通いの場 ■ 基幹型 集いの場 ■ ふれあい・いきいきサロン ■ 市民センター等の趣味活動 ■ 市民活動支援センター
	相談 受診 (P.8参照) (P.9参照)	■ 地域包括支援センター ■ 周南市役所 ■ 山口県若年性認知症支援相談窓口 ■ 居宅介護支援事業所 ■ 認知症介護相談事業 ■ 認知症初期集中支援チーム ■ かかりつけ医・オレンジドクター ■ PREMIUMオレンジドクター ■ 認知症疾患医療センター
	生活支援 ・見守り (P.10~11参照)	■ 民生委員児童委員 ■ 福祉員 ■ 地域福祉コーディネーター 等による訪問支援活動 ■ もやい徘徊SOSネットワーク ■ もやいネット支援事業者との協定 ■ 有償ボランティア ■ 見守り配食事業 ■ 緊急通報システム ■ ヘルプマーク
	サービス・制度 (P.10~11参照)	■ 元気アップ90(短期集中通所介護) ■ 介護サービスの検討 ■ 介護保険の認定申請 ■ 介護サービスの利用 ■ 日常生活自立支援事業 ■ 成年後見制度
	住まいや施設	■ 住宅改修、福祉用具貸与・購入 ■ グループホーム ■ 有料老人ホーム ■ サービス付き高齢者向け住宅 ■ 特別養護老人ホーム

# 支援者や仲間と「つながる」

認知症地域支援推進員※ 等の専門職がいる認知症の相談窓口



思いや希望  
を伝える

## 受診への迷い・不安、認知症の人や家族の暮らしを支える制度・地域の取組のこと

※ 認知症の人の状態に応じて必要なサービスが適切に提供されるように、医療機関や介護サービス、地域の支援機関の間の連携支援や、認知症の人やその家族を対象とした相談業務などを行う専門職です。

高齢者の総合相談窓口です。認知症の他、医療・介護・暮らしの相談に幅広くお応えします。

いきいきサポート(地域包括支援センター)

お住まいの地区	担当	所在地・連絡先
久米・櫛浜・鼓南・熊毛	いきいきサポート周南東部 (周南東部地域包括支援センター)	久米 1533-3 ☎ 0834-29-1155
(主に)熊毛	高齢者相談コーナー 天王園在宅介護支援センター	大河内 1109-2 ☎ 0833-91-5851
周陽・桜木・秋月・岐山・ 大津島	いきいきサポートつづみ園 (つづみ園地域包括支援センター)	瀬戸見町 12-30 ☎ 0834-28-7055
遠石・関門・中央・今宿	いきいきサポート徳山医師会 (徳山医師会地域包括支援センター)	東山町 6-28 ☎ 0834-32-9035
富田・菊川・和田・福川・ 夜市・戸田・湯野	いきいきサポート周南西部 (周南西部地域包括支援センター)	古川町 1-17 ☎ 0834-62-6301
(主に) 福川・夜市・戸田・湯野	高齢者相談コーナー 西部いきいきサポートステーション	戸田 2713(道の駅ルーネ周南内) ☎ 0834-83-2277
須々万・長穂・向道・中須・ 須金・鹿野	いきいきサポート周南北部 (周南北部地域包括支援センター)	須々万本郷 2502 ☎ 0834-87-2000
(主に)鹿野	高齢者相談コーナー やまなみ荘	鹿野上 2755-1 ☎ 0834-68-4183

周南市役所

担当	内容	連絡先
地域福祉課	もやいネットセンター (福祉総合相談窓口)	認知症の悩み・心配などの 相談について ☎ 0834-22-8200
	包括ケア・地域保健担当	認知症の理解を広めるた めの啓発、交流の場づくり など地域の取組について ☎ 0834-22-8462
		熊毛総合支所 市民福祉課 コアプラザかの
高齢者支援課	介護や住まいなどについて	☎ 0834-22-8467

若年性認知症

若年性認知症(65歳未満で発症)の相談に若年性認知症支援コーディネーターがお応えします

担当	内容	連絡先
山口県若年性認知症支援相談窓口 (山口県立こころの医療センター内)	就労の相談や福祉サービス などの相談について	☎ 0836-58-2212 月～金(年末年始・祝日除く) 9時～17時

つながる・伝える

## もの忘れや認知症の相談ができる医療機関

思いや希望  
を伝える



### 認知症の診断や症状、治療のこと



かかりつけ医がいる場合は、最初にかかりつけ医へ相談し、適切な医療機関を紹介してもらいましょう。紹介状があると、次の受診や医療機関同士の連携がスムーズです。

## 連携

### かかりつけ医・オレンジドクター

- ・ オレンジドクターは、「山口県もの忘れ・認知症相談医制度」での「身近な相談医」の役割
- ・ 身近なかかりつけ医が多く登録。市内に 28 医療機関 (R5 年 3 月時点)。
- ・ 様子に応じて、適切な医療機関へ紹介

### PREMIUM オレンジドクター

- ・ オレンジドクターの「身近な相談医」の役割に加え、より専門的な認知症の診療を行う。市内に 6 医療機関 (R5 年 6 月時点)。
- ・ オレンジドクターの認知症診療のサポート

### 認知症疾患医療センター

- ・ 山口県が指定した認知症の専門医療機関 (市内では、泉原病院)
- ・ 専門医療相談、鑑別診断・治療、保健・医療・介護の連携などを行う

ホームページ

山口県 オレンジドクター制度



## 味方になってくれる人と出会える・つながれる交流の場



思いを理解し、  
安心させて  
くれる

不安・戸惑いを  
和らげてくれる

暮らしの  
工夫やヒントを  
教えてくれる

必要な  
場や人へ  
つなげてくれる

あなたが  
前向きになれる

認知症の人・介護者が一緒に参加できます。地域の人や医療・介護の専門職と情報を共有し、認知症やお互いを理解し合う場です。(下記は、令和 6 年 3 月時点の情報)

認知症カフェ・交流の名称	会場	開催予定日	連絡先
かふえ福寿草(家族会)	徳山社会福祉センター	毎月第2火曜 10:30~	☎ 090-4149-7278(室田)
くまげ福寿草の会(家族会)	ゆめプラザ熊毛	毎月第1水曜 10:00~	☎ 0833-91-6056(又賀)
認知症介護者の集い	学び・交流プラザ	毎月第4火曜 10:00~	☎ 0834-22-8462 (市地域福祉課)
福谷の森カフェ	グループホーム和み 福谷の森	偶数月第4金曜 10:00~	☎ 0834-22-1880
新南陽市民病院 認知症カフェ	新南陽市民病院	お問い合わせください	☎ 0834-61-2500(代表)
和みカフェ	グループホーム 和み	奇数月第4月曜 14:00~	☎ 0834-82-1010
おひさまカフェ	愛の家グループホーム 周南須々万	奇数月第4木曜 14:30~	☎ 0834-87-2760

開催予定日の変更などがありますので、参加の場合は各連絡先へお問い合わせください。








つながる・伝える



# 支援者や仲間、サービス・制度と「つながる」

分類	No	取組などの名称	概要	問い合わせ先	連絡先	詳細はこちら
① 学ぶ	1	認知症サポーター養成講座等 出前トーク	認知症サポーター養成講座では、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、できる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成します。その他、介護予防・人生会議等に関する出前講座を実施します。	地域福祉課	0834 22-8462	
	2	認知症月間における集中啓発(認知症講演会等)	認知症月間(9月)を中心に、認知症講演会の開催や市立図書館での展示等、様々な場所で認知症の啓発活動を行います。	地域福祉課	0834 22-8462	
② 備える	1	脳の健康度測定	タブレット等を使って、脳年齢などの「脳の健康度」を確認する15分程度のテストです。 ※ 認知症を診断する検査ではありません。	地域福祉課	0834 22-8462	
	2	脳の健康チェックリスト	暮らしの中の目安として活用いただき、いくつか思い当たる項目が増えた時は、身近な相談窓口へお声がけください。	地域福祉課	0834 22-8462	
③ 相談する	1	地域包括支援センター	高齢者の生活を支える相談機関で、保健や福祉の専門職が高齢者の生活を総合的に支援します。	担当の地域包括支援センター	P.8参照	
	2	認知症介護相談事業	認知症のご本人と介護者へ、認知症の対応法や生活の工夫などについてより専門性の高い助言を提供し、心身の負担軽減を図る個別の相談事業です。	地域福祉課	0834 22-8462	
	3	認知症初期集中支援チーム	認知症やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症の早期診断・早期対応に向けて支援します。	地域福祉課 (もやいネットセンター) 担当の地域包括支援センター	0834 22-8200 P.8参照	
④ 参加・交流	1	認知症カフェ	認知症の人やその家族が、地域の人や専門職と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場です。	地域福祉課	0834 22-8462 P.9参照	
	2	認知症家族会・認知症介護者の集い	認知症の人を介護する家族の介護負担軽減を目的とした家族同士の交流・相談の場です。 (市内に3団体)	地域福祉課	0834 22-8462 P.9参照	
	3	住民運営通いの場	おもりを付けて行う筋力運動で、介護予防に効果的と実証されている体操です。 (市内に約140か所)	地域福祉課	0834 22-8462	
	4	基幹型集いの場	簡単な運動や交流など、自分のペースで取り組める介護予防の場です。 (市内に2か所)	周南市社会福祉協議会	0834 22-2115	
	5	ふれあい・いきいきサロン	地域の高齢者がレクリエーションや体操を自由に行う「地域の居場所」です。 (市内に約170か所)	周南市社会福祉協議会	0834 22-8721	
	6	市民センター等の趣味活動	趣味や教養、生活などについて自主的に活動する市民の集まりです。 問い合わせは、各市民センターへ。	各市民センター	-	
	7	市民活動支援センター	周南地域で市民活動を行う、またはこれから行おうとしているグループや個人を支援するところです。	市民活動センター	0834 32-2200	

つながる・伝える

分類	No	取組などの名称	概要	問い合わせ先	連絡先	詳細はこちら
⑤生活支援・見守り	1	民生委員・児童委員	地域住民からの生活上の困りごと等の相談に応じ、必要な支援を受けられるよう、専門機関や行政などへの“つなぎ役”としての役割を担っています。	地域福祉課	0834 22-8465	
	2	福祉員	地域の皆さんから自治会単位に選出され、ひとり暮らしの高齢者を見守る訪問活動等を行っています。	周南市社会福祉協議会	0834 22-8721	
	3	地域福祉コーディネーター	市内31地区の市民センター等に配置し、「見守り上、気掛かりな方」を対象に訪問支援活動を行っています。	周南市社会福祉協議会	0834 22-8721	
	4	もやい徘徊SOSネットワーク	徘徊等による行方不明や、身元不明者が保護されたときに、警察だけでなく地域や事業所の皆さまにご協力いただき、速やかに行方不明者を発見または身元を確認する仕組みです。	地域福祉課 (もやいネットセンター)	0834 22-8200	
	5	もやいネット支援事業者との協定	地域の方々と関わりのある事業者の皆さんが、業務の中で高齢者等の見守り活動を行い、異変を察知した場合には、その情報を市や関係機関に連絡します。	地域福祉課 (もやいネットセンター)	0834 22-8200	
	6	有償ボランティア	ちょっとした困り事ごとに対する、地域住民同士の助け合いの活動です。	周南市社会福祉協議会	0834 22-8721	
	7	見守り配食事業	在宅において見守りが必要で食事を確保することが困難な高齢者、障害者等に対する事業で、高齢者等の健康維持及び安否確認を行います。	担当の地域包括支援センター	P.8参照	
	8	緊急通報システム	日常生活に不安のあるひとり暮らし等の高齢者等に対し、安否確認及び緊急事態等の発生時に適切な処置を行います。	地域福祉課 (もやいネットセンター)	0834 22-8200	
⑥サービス・制度	1	元気アップ90 (短期集中通所介護)	要支援者・事業対象者へ、専門職による3か月間の動機づけ面談や運動のアドバイス等により、セルフマネジメント力を高め、生活機能の向上を目指します。	担当の地域包括支援センター	P.8参照	
	2	介護保険・介護サービス	要介護や要支援認定を受けた方へ、状態や暮らしに応じて提供される介護サービスです。	高齢者支援課	0834 22-8467	
	3	日常生活自立支援事業 (旧 地域福祉権利擁護事業)	日常生活上の判断が十分でない認知症の方等が、地域で安心して暮らしていただけるように支援する福祉サービスです。	周南市成年後見支援センター (周南市社会福祉協議会)	0834 22-9988	
	4	成年後見制度	認知症などによって判断能力が十分ではない方々が安心して生活できるように支援する制度です。	周南市成年後見支援センター (周南市社会福祉協議会)	0834 22-9988	
	5	ヘルプマーク	義足などを使用している方、内部障害の方など、外見から分からなくても援助・配慮を必要としている方々が、周囲にそれを知らせるためのマークです。認知症の方も活用しています。	障害者支援課	0834 22-8387	

# 認知症とともに生きる希望宣言

一足先に認知症になった私たちからすべての人たちへ

- 1 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
- 2 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
- 3 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
- 4 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを身近なまちで見つけ、一緒に歩いていきます。
- 5 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

ホームページ

一般社団法人 日本認知症本人ワーキンググループ



使い始め	年	月	日
名前			

発行 周南市 福祉部 地域福祉課  
令和6年4月

ここから、つながる。  
 周南市

